

【樹木の部屋】

モッコウバラ（バラ科バラ属 *Rosa banksiae*）

和名：モッコウバラ（木香茨、木香薔薇） **別名**： **英名**： banksia rose

バラ目 常緑蔓性低木木 **原産地**：中国

花言葉：純潔、あなたにふさわしい人、初恋、幼いころの幸せな時間、素朴な美

花色：黄、白



← 写真-1 モッコウバラ

撮影日：2019年05月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

→ 写真-2 モッコウバラの花

撮影日：2019年05月08日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



ご近所を散策中に、フェンス沿いに、咲いていました。派手さは有りませんが、ユッタリとした雰囲気醸し出していました。トゲが無いので、気楽に触る事ができるのも・・・。

モッコウバラは4～5月に、白かカスタードクリームのような淡い黄色の花をさかせます。咲き方には一重と八重咲きがあり、一般的にモッコウバラと言え、黄色の八重咲を指すそうです。直径2～3cm程度の小ぶりの花を、枝の先に5～10輪くらい房のようにたわわに咲かせます。また、強健で、生育旺盛で、10mくらいにまで生長します。

花芽の形成が8月末までに行われるため、それ以降に剪定をすると、翌年の開花数が少なくなってしまうようです。花後、早めの剪定で樹形を整えることと、適宜誘引

を行い枝が暴れないようにすることです。花つきのいいモッコウバラに仕立てるには、剪定の時期がポイントになります。

モッコウバラと一般的な蔓バラとの大きな違いは、花芽のできる時期が異なります。一般的な蔓バラの場合、花芽ができるのは早くても2月ですが、モッコウバラの場合は9月の時点にはすでに花芽ができています。このためモッコウバラの剪定は開花後、遅くとも7月までには、その年に伸びた長いシュートを根元から切り取り、絡んだ枝や不要な枝を取り除きます(夏剪定)。シュートを絡ませて大きく育てたい場合は、シュートは残します。全体のバランスを見ながら、花の咲き終わった枝を半分くらいまで切り戻します。一般的なつるバラの冬剪定は12月下旬～1月上旬が適期になります。

旺盛なモッコウバラも、秋には成長が緩やかになって枝の伸びもほとんど止まってしまう。この時期から花芽を充実させる準備に入るので、この時期に誘引しておくのがおすすめです。

モッコウバラの剪定で切る枝は

- ・今年伸びた太いシュート。
- ・3年以上経った古い枝や細くて貧弱な枝。
- ・生育の良くない枝。
- ・今年花が咲いた枝も半分ほどの長さに切り戻しておく。

モッコウバラの剪定で残す枝は

- ・来年の春に花をつけてくれる健康な小枝。

モッコウバラの花は、剪定後に新しく伸びる細い小枝の先に房状に咲きます。

太いシュートを整理した後、脇芽から伸び出した小枝に来春花が咲きます。

モッコウバラは株がある程度大きくなないと、花を咲かせません。また、種から育てた場合、開花までは3年以上かかります。そのため苗を購入するときは、枝先に花芽がついているものを選ぶと良いそうです。